

令和4年度 第1回福島市廃棄物減量等推進審議会 会議記録書

- 1 日時 令和4年7月28日(木)
10:30開始～12:00終了 所要時間90分
- 2 場所 福島市市民会館4階 401号室
- 3 出席者 委員8名、事務局12名、マスコミ5社
- 4 会議録

次長	1 開会
部長	2 部長あいさつ
次長	3 出席者紹介 (1) 委員 (2) 事務局
ごみ減量推進 課長	出席状況報告
会長	4 議事 私たちの委員会は、事業所ごみ、家庭ごみと言われる一般廃棄物の排出量の状況をずっと注視して見守ってきたところである。そして大分前になるが、「ごみ有料化」はどうなんだろうか、ということについて答申を出したことがある。答申を出して、条件を付けて、このぐらい量が減ったならば、「ごみ有料化」というのはしなくていいのではないかと、猶予を与えてごみ減量化を続けてみよう、というような話をしてきた。そして、市役所を中心にしてごみ減量について様々な施策を実施してきた。今日報告があると思うが、その結果は予定したものより厳しいような状況になったようである。 5～6年前まではマスコミが入る状況が多かったが、コロナもあったせいか、この5年間くらいはこういう取材はあまりなかった。

	<p>私たちが答申を出した時よりも、ごみ減量に対する意識というものが非常に高まっていると、この状況を見てもよくわかる感じがする。</p> <p>さて、私たちの考えでは、有料化を実施するとかしないとか、そういうことに関わらず、ごみ減量に関する取り組みは引き続き実施していくということは共通認識だと思う。委員の皆さんは、様々な団体、会のリーダー的な存在である。ぜひ、本委員会での議論をそれぞれ持ち帰っていただき、団体や会の中で共有していただき、ごみ減量化について引き続き取り組んでいただくようお願いする。</p> <p>それでは、議事を進めさせていただきたいと思う。</p> <p>議事（１）令和３年度福島市廃棄物減量等推進審議会開催状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
ごみ減量推進 係長	（１）令和３年度福島市廃棄物減量等推進審議会開催状況について （資料により説明）
会長	<p>ただいまの事務局の説明に関して、意見・質問等あれば、発言をお願いします。</p> <p>質疑応答なし</p>
会長	<p>報告ということなので、また振り返った時に何かあれば、発言をお願いします。</p> <p>続いて、（２）の議題、（２）ごみ減量大作戦について、事務局より説明をお願いします。</p>
ごみ減量推進 係長	（２）ごみ減量大作戦について （資料により説明）
会長	ただいまの事務局の説明について、意見・質問等あれば、発言を

委員

お願いする。

開始当初からの意見でも結構であり、個別の部分についての確認でもいいので、何かあれば発言をお願いする。

ただ今の説明について、何点か伺いたいと思う。

町内会連合会の代表での立場で町内会を見ていると、やはりごみ問題はかなり深刻なレベルでの問題だという認識を持っている。役員はじめ町内会のメンバーとどのようにすればいいのか、町内会ごとに様々な対応をしているが、これといった効果のある対応ができない、そんな状況に苦しんでいる。

もう一つ付け加えると、現在ごみが減っているというような報告があったが、数字的に説明できないが、ごみが増えているのではないかと感じている。ごみ置き場をどうすればいいかと町内会のメンバーと相談したときに、ごみがネットからはみ出る、ごみ置き場の想定量を超えている、それがカラスを呼んで余計にその地域の環境を悪くしている、といった状況もあり、ごみの有料化をすると減量につながるかどうかはわからないが、問題は複雑だという認識を持っている。

そこで質問であるが、2 ページにスタート時から令和3年度までに1人1日あたり48gの減と記載されている。最後の総括にも触れているが、様々な施策の効果ももちろんあるかと思うが、ごみが減った要因として、何が効果があったのか、より効果のあった施策は何か、現在把握している範囲で教えていただきたい。

あと、5 ページと6 ページにまたがっているが、5 ページの総括に記載されている「広報不足の声も聞かれた」という記載がある。また、6 ページの一番上には『おいしい食べきり2020運動』の実績でポスターという記載がある。これまでの取組は市民への協力依頼など、精神面的なものが多かったように思うが、ポスターの掲示はどのように行われたのか伺いたい。町内会に入っている住民には、町内会を通して福島市の考えをなんらかの方法で伝えることができるが、町内会に入っていない住民への広報というのを非常に悩まし

<p>会長</p>	<p>く感じている。これを解消するには、誰の目にも止まるようなポスター掲示などが有効なのではないかというふうに考えている。この広報不足という声があったということだが、ポスター掲示の枚数が少なかったのか、やっていなかったのか、それともポスター掲示の場所について、もう少し効果的な場所への掲示についての声があったのか、もう少しこの広報不足の件について伺いたい。</p> <p>最初の質問については、非常に難しい問題だと思う。どの政策がどのくらい影響しているのかとか、これが一番効果があるというのは、福島市以外でもいろいろ先進的な取組をしているが、その取組をやっても数年で影響がなくなったり、やっても影響がなかったりしている。そもそも経済が盛り上がっているときにごみの消費が多いのか、経済が盛り下がっているときにごみが出る量が少なくなっているのか、非常に複合的な要因があって、これだというようなことを今言うのは極めて難しいというのが、日本中のごみ行政を研究している私が現場で言われていることである。福島市をはじめ、多くの自治体でたくさんの策を打って、継続してやることによって生み出されている減量効果なのでないかと思う。減量効果の数字が、「割と少ない。」という見方をする人もいれば、「頑張った。」と言う人もいる。極めて難しい回答になると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>補足をさせていただきたい。</p> <p>私が伺いたかったのは、様々な施策の中で、これは効果があったんじゃないか、または効果があった、というようなものがあれば、早速持ち帰って、これを展開するというようなこともあるのかなと思った。難しい回答を求めているわけではないので、減量に効果があった施策というものを把握していれば、紹介させていただきたい。</p>
<p>ごみ減量推進 係長</p>	<p>より効果のあった施策ということで、会長が言うように断言するのはなかなか難しいところがあるが、『ごみ減量大作戦』として取り組んできたダンボールコンポスト購入費助成とか、家庭用剪定枝破</p>

<p>会長</p>	<p>碎機貸出事業、そういったものについてはどのくらいごみが減ったかというアンケート調査をしている。例えば、ダンボールコンポスト購入費助成だと、令和2年度と3年度合わせて、640人程の方にダンボールコンポストを使っていただき、総量で約12t削減できたというのが数字として出ている。</p> <p>家庭用剪定枝破碎機貸出事業については、令和3年度に185件貸出をして、総量で約6.8t削減できたという結果もでている。</p> <p>数字として出てくるものというのは本当にこういった限られたものになってしまう。あと生ごみは非常に水分が多いごみになるので、生ごみ処理機や水切りを徹底して、水分を取り除く、そういったことが非常に効果的ではないかと考えている。</p> <p>また、もう一つの広報については、『ごみ減量大作戦』のポスターやのぼり旗について、目にされた方もいると思うが、そういったものを市の施設と『ごみ減量大作戦』協力店舗ということで、市内のスーパーなどの各店舗に展示をしていただいた。確かに広報不足ということについては、先程も申し上げたようにダンボールコンポストなどを使っていただいた方にアンケートを取っている中で、「もう少し広報に力を入れた方がいいんじゃないか。」というような声が聞かれた。アンケートに答えていただけると非常に高い意識を持っている人から見ると、「知らない人が多いんじゃないか。」というような意見が届いている。そういった部分で、広報については課題だと思っているので、関心の薄い方々に対しても情報が届くように、何かしらの工夫をしていかなければならないと考えている。</p> <p>委員に言っていただいた前半のことだが、やはり市民としては何が効果的だったのか、どんなことに好評を得たのかを知りたいと思うので、アンケートなど市役所に寄せられるコメントで多かった声をまとめていただくというのが、一つできることなのではないか。</p> <p>展開検査など技術的にできることもある。市内のごみを集めてきたパッカー車のごみを開封して、紙などに分別して、ごみの割合とこののを調べているはずである。展開検査を全部のパッカー車でや</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>っているわけではないので、少しゆらぎはあると思うが、それがこの5年でどういうふうに変化してきたのかなどを報告するのも一つの手なのではないか。</p> <p>特に私がパッカー車の運転手からよく聞いていることは、ごみ収集で草木が多くなっているということである。それは、原発事故で庭を1回きれいに除染したことで、きれいな庭を私たちが見慣れてしまって、ちょっとでも草があると、どんどん草を取って捨ててしまう。もちろん捨ててもらって問題ないが、パッカー車が回収地域を半日で周っていたところが、午後も出勤しなくてははいけなくらい草木が多いという印象を持っている運転手が多い。市役所の行政の内外の声、物理的な展開検査の動向とか、そのようなことを把握して、解説していただくとより効果的なのではないか。</p> <p>他に意見はある方はいるか。</p>
委員	<p>平成29年から令和3年までで48gの減というのは、正直度重なる地震や水害の割には、ずいぶん減っているなど思っている。</p> <p>その理由の一つとして大きいのが、雑紙を紙袋に入れて捨てられるようになったことではないか。もちろん啓発運動とかいろいろあると思うが、紙を資源にしたというのが一番大きな理由だと思う。紙の分別がまだまだ徹底されていないため、町内会でも市民でも、紙を袋に入れて簡単に出せるようになったので、それを大いに活用して、どんどんごみから資源物の方へと移行していただければ、ごみは自然と減っていくと思う。</p>
会長	<p>雑紙回収というのは、特に若い単身世代を中心にあまり理解されていない印象があるため、特に働きかけていただきたい。また、雑紙回収といっても、紙と思っているが紙じゃないものを入れてしまう人もいる。分別を一生懸命やっても、間違えて紙ではないものを入れてしまうこともあるが、その影響はどのくらいなのか。影響が少なければ、多少間違っても問題はないのか。処理処分の観点から話を聞いているようなことはあるか。</p>

ごみ減量推進 課長	<p>雑紙収集を回収するにあたっての業者の話では、雑紙収集前であっても、既に不適なものというのは一定割合で混入はしていた。雑紙収集を入れることによって、先程の報告にあったとおり、4割ぐらい回収されている量は増えているが、混入されている不適なもの割合というのは、そんなに変わっていないと聞いている。混入がないことは望ましいが、人がやることなので、一定割合の混入というのはやむを得ないだろうと、どうしても防ぎきれない部分もあるので、その想定の中で動いている。</p> <p>もう一点、ごみの分別について、令和3年度のごみ総排出量 1,055g というのものの中には、分類上資源物として出されているというのも全て含まれている。ごみの減量を大きな意味で言った場合に、総排出量、市の収集で行っているものは、資源であれ、可燃であれ、不燃であれ、全てこのごみ排出量としてカウントされているということになる。資料の7ページの部分に『ごみ減量大作戦』ののぼり旗が載っているが、隣には市内のスーパー等の回収ボックスがある。こちらはスーパーの取り組みとして回収しているので、ここに出された新聞とか段ボールとかいうのは、市の排出量には含まれないものになっている。ごみの排出量といったときの考え方、整理というのも難しい要因である。</p> <p>つい最近、セブンイレブンのペットボトルの回収を独自に市内の店舗では始めている。当然ながら、そこに出されるペットボトルというのは、市の排出量の中には含まれないことになっている。そういった企業の独自取組というのも、市の取組とは別個の取組として、ごみ減量化の一つの大きな要因になっていくということもある。</p> <p>ごみ減量化に取り組む中で、どんなに分別しても総量の中に含まれてしまうというジレンマはある。ただ、分類を進めていくというのは、決して無駄にはならないことで、ごみに関して関心を持っていただくとか、注意を持っていただくという点では、やはり最初の導入になっていくと、こちらとしては考えているところではある。</p>
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>会長</p>	<p>今委員の中からは「ごみ排出量について、そうだったのか。」という声があったと思うが、現実はそのようなことである。</p> <p>他、意見等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>衛生団体連合会では、各町内会でごみの分別収集とか、直接ごみ集積所の清掃とか、あるいはごみ集積所を自分たちで金を出して、カラス対策のためにごみ集積所の構造物を造ったりなどの活動をしている。市内に 666 の団体があり、それを取りまとめている。</p> <p>今回の『ごみ減量大作戦』の成果として、まずダンボールコンポストは結構評判が良く、利用されている市民が多かった。落ち葉たい肥化事業についても、各町内会や団体に設置し、たい肥化を図る事業で、これも結構良かった。ただ、家庭用剪定枝破砕機貸与事業はすぐ故障するなど、あまり評判が良くなかった。少し太い枝を入れると、機械が止まったり、壊れたりしてしまう。大体親指ぐらいの太さの枝を入れてもうまくいかないときは故障してしまう。これはもう少し改良する必要があるのではないかと思っている。いずれにしてもこの3つの策はそれぞれ良い結果を生んだのかなと思っている。</p> <p>『ごみ減量大作戦』を3年間やってきた中で関心の薄い方にどう関心を持たせるか、市の啓発が届いていないのではないかと、そういう総括をしているが、『ごみ減量大作戦』の報告でがっかりしたのは、5 ページに地区座談会を述べ 118 回やり、参加者は 1,426 人との報告がある。1 回あたり 12 人の参加しかない。市の職員が 5 人も 6 人も出掛けて行って、集まった人が平均で 12 人である。もっと宣伝しないとということで、うちの団体を使ってくださいと言ったこともある。666 団体に『ごみ減量大作戦』の座談会をやるから、あなたの組合では何人ぐらい出してくださいと、そういう要請などの連携をすれば、もっと数が増えたのではないかと。やはり費用対効果というか、お金をこれだけ掛けて、これしか集まらなかったのでは意味がないんじゃないかと、そういうふうに言われてもしょうがないと思っている。そういう意味でぜひ今後座談会をやるとか、何かやるというこ</p>

<p>会長</p>	<p>とであれば、私どもの団体にこういうことをやるからと、ぜひ参加してもらおうよう周知徹底してもらいたい。要請すれば、私の方も動いてみたいと思っている。</p> <p>実体験に基づいた心強いコメントであり、すごく強力な支援の言葉をいただいた。他の委員も同じような考えを持って取り組んでいただければと思う。</p> <p>去年とか一昨年とか福島大学にも来ていただいたが、若い人はごみに対して意識が低い。例えば、ももりんと記念撮影しながらのごみの減量の宣伝など、ソフトに実施するやり方もある。委員の団体に協力してもらおうなど、多方面戦略でやっていただけたらいいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>女性部会の方もごみ減量とか食品ロスとか、主婦の集まりなので、そういうものに関心が高い。ダンボールコンポストの使い方を業者に説明していただき、好評を得て今でも使っていたりする。今回の報告で助成金 1,000 円を助成したとの報告があったが、初めてわかった事業もある。委員がおっしゃったように、様々な団体を活用していけば、もう少し減量につながるのではないか。また、委員がおっしゃったように、雑紙回収も主婦には評判がよく、実行している主婦も多い。団体との連携などを取っていけば、もっとごみ減量に効果が発揮されるのではないかと思った。</p>
<p>会長</p>	<p>この話題にすごく熱心になりすぎて、時間を多大に費やしているので、次に行かせていただきたいと思う。</p> <p>また、全体として委員にもコメントいただきたいと思うので、またよろしく願います。</p> <p>続いて、(3) 令和3年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>ごみ減量推進</p>	<p>(3) 令和3年度福島市一般廃棄物処理基本計画の進行管理につい</p>

係長	<p>て</p> <p>(資料により説明)</p>
会長	<p>基本計画というのは5年毎に策定しているものである。東日本大震災のときは休みのときもあったが、今度は令和7年度までの5年間で策定している。</p> <p>実は前までの基本計画も5年間で策定しており、計画はするが、振り返りはしていなかった。今年度以降は、年度年度でどのぐらい進捗しているか見ていこうということで、より着実にやっていこうというような行政の取組になっている。</p> <p>意見等があれば、願います。</p>
委員	<p>町内会で管理しているごみ集積所の利用で、期日を守らない住民がいる。ある程度はやむを得ないと思われるが、散らかったごみをごみ集積所近所の住民が清掃している。どちらかというとな不法投棄に近いが、処理できないテレビであったり、タイヤであったり、消火器であったり、こういったものがごみ置き場に捨てられていることもある。地域の方から「町会でなんとかして欲しい。」と言われて、ある程度様子は見ているが、処理する方法が見付からずに、町会費を使って有料で処理しているという状況である。何か良い方法はないのか伺いたい。</p>
会長	<p>町内会の区長をやっており、不法投棄が多い。テレビやスノーボードなど、軽トラで持ってこられて、投棄されたりしたこともあった。最初は地域の人かなと思い、写真付きの張り紙をして注意したが、全然駄目だった。どうやら軽トラで誰かが持って来て捨てたんじゃないかということがわかったが、どうすることもできず。リサイクル券を自費で購入しテレビを処理したこともある。その時に市役所に電話し、こんなことがあってと言ったが、「それはなんともならない。」と言われた。市役所の方も非常に恐縮されて電話で対応していただいた。不法投棄というのは、どこかから来て、どこかに捨</p>

<p>ごみ減量推進 課長</p>	<p>てていくということが多く、対応のしようがなく困っている。市として対応できることあるのか。</p> <p>会長のおっしゃるとおりで、自分の土地に捨てられてしまったとしても、ある意味被害者であると思うが、犯人がいなければ、土地の所有者が費用を出して片付けなくてはいけないというのが今の制度である。集積所に関しても、町内会に管理をお願いしており、当然市で約 6,800 カ所全てを管理することは到底不可能なことであるので、お力をお借りしている。非常に苦慮されているということも十分承知はしているが、なかなか市としても対策をとりようがない。適正排出をお願いしていく、指導していくということは徹底しているが、そこまでの部分でどうしても零れ落ちてしまう部分があると思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>ボランティアの収集袋は、希望するともらえるのか。</p> <p>前の会長の時に、河川敷でバーベキューをして残されたごみを片付ける際に市からごみ袋をもらえる支援があると聞いたことがある。</p>
<p>ごみ減量推進 課長</p>	<p>直接ごみ減量推進課の方で、ボランティアごみの袋というのは配布していないが、例えばこの河川であれば河川課とか、環境課の方でやっているかどうかは把握していないが、ボランティア清掃ということでの事業はやっているかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>今回のこの進捗管理の中にそういうのが入り込めれば良かったが、なかなか現状は難しいようだ。</p>
<p>委員</p>	<p>資源物のプラスチックの分別で、硬いプラスチックと柔らかいプラスチックの見分け方に迷っている方がたくさんおり、その辺がわかりづらい。私の意見としては、同じ石油なので、容器包装のプラスチックは燃えるごみに回してしまった方が良くないとさえ思って</p>

<p>会長</p>	<p>いる。柔らかい、硬いだけでは、わかりづらいとの声が聞こえてくるので、改善していただけると助かる。</p> <p>周知とか広報の意味で参考になると思うので、ぜひお願いします。</p> <p>ちなみに私の場合、悩んだ時は「ごみ分別アプリ」というのを使っている。プラスチックがハードだとか、ソフトだとかの見分け方ではなくて、製品ごとになっているが、いろんなものが載っており、アプリで見分けることが結構多い。便利な機能なので、ぜひ使ってみて欲しい。</p>
<p>ごみ減量推進課長</p>	<p>確かに硬い、柔らかいという表現が概念的に判断が難しいところがある。</p> <p>今年の4月から、製品プラスチックの方も先行している自治体では、回収を開始しているところもある。福島市はまだ条件が整わないためやっていないが、今の流れとしては、容器包装プラスチックと製品プラスチック、いずれも回収をするというような流れになっているので、福島市も将来的には、どちらもプラスチックとして回収していくことになるのではないかと見立てをしている。それまでの間は、広報しか対処がないと思うが、なんとかそこら辺のアンマッチを解消できるように、こちらを進めていきたいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは次の議題にいきたいと思う。</p> <p>(4) 令和4年度福島市一般廃棄物処理実施計画について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>ごみ減量推進係長</p>	<p>(4) 令和4年度福島市一般廃棄物処理実施計画について (資料により説明)</p>
<p>会長</p>	<p>意見・質問等あればお願いします。</p> <p>基本計画は5年に対して、実施計画は毎年出すものということである。</p>

委員	<p>いつでも構わず捨てる方がどうしてもいるので、市民に期日を守ったごみ排出というのをお願いできないかなと思っている。具体的には、掲示されるポスターやのぼりの「ごみ減量」という言葉と併せて、期日を守った廃棄という言葉を加えていただくようお願いしたいと思う。</p>
会長	<p>他、意見等はあるか。</p>
委員	<p>資料の3ページの「6 令和4年度重点事業」では生活系ごみ（資源物を除く）を530g以下にすることとあるが、別紙1では令和3年度のところが1,055gとなっている。生活系ごみ（資源物を除く）の推移は別紙1の中でどこかに出ているのか。令和4年度福島市一般廃棄物処理実施計画の報告では生活系ごみ（資源物を除く）は530gを目標としているので、3年間の取り組みの結果、生活系ごみ（資源物を除く）だけの排出量の推移を教えてください。</p>
ごみ減量推進 係長	<p>こちらの生活系ごみは資源物を除いた数字として目標を掲げている。資料の中に記載はしていないが、目標値の530gに対して、令和元年度が770g、令和2年度が707g、令和3年度が681gということで、減少傾向にはある。</p>
委員	<p>それを令和4年度は530gにしたいという目標か。</p>
ごみ減量推進 係長	<p>その通りである。</p>
会長	<p>他に意見等はあるか。</p>
委員	<p>今年の冬であるが、大雪により朝8時30分までにごみ置き場まで辿り着くのが難しいという声が町内にあった。民生委員も出て、</p>

<p>会長</p>	<p>雪かきなどはしたが、朝8時30分までに雪かきをするのは大変だった。その折に市長の会合に出る機会があって、除雪をお願いするよう申しあげたら、「今年は予想外の雪で」ということを言われた。除雪なども、高齢者には関わってくる問題の一つであるということ念頭に入れていただき、朝8時30分までにごみを出すのが大変な場合もあるというのをご理解いただきたい。</p> <p>私は仙台に家があって、仙台と福島で生活することがあるが、仙台はごみの袋を10枚450円で有料化している。45ℓが福島でいうと大体30枚が200円程度で、倍ぐらいの値段である。500円ぐらい出してごみを出すという考え方が浸透している。仙台のベニマルなんかに行くと、仙台市、名取市というように売り場が決まっていて、在住しているごみ袋を買うので、やはりそういうことも必要なのではないか。水切り器などでごみを減らすことも重要だが、有料化ということにも、少しずつウエイトを向けるということも大切なのではないかと、私自身感じている。</p> <p>福島元気トークというのがあって、ごみの問題の時に出席していただいた。有料化の話をしたら、町内会連合会内の町内会長だと思うが、「なんでごみを出すのに、俺たちが金を出さなきゃならないんだ。」というような意見があり、市長も一生懸命話をしていただいたが、その話はすぐに終わってしまった。学生はそれに対しても興味深く話をしていたので、そういう取組といのは、若い人の方が意外と頭が柔らかくて、話がしやすかったという記憶がある。</p> <p>福島市婦人団体連絡協議会で、蔵王のリサイクルセンターに研修に行ったことがある。そこでは仙台市のごみを道路のブロックにしていたり、しいたけを栽培する原木に使っていたりして、循環ができています。ごみをリサイクルして製品にするという新しい方向に目を向けていくことも一つ大切なことではないかといつも考えている。</p> <p>ごみ有料化に対しての非常に強いコメントをいただいた。最初の別紙1の資料の最後に書いてあるが、この3年間を踏まえて、災害</p>
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>委員</p>	<p>等の影響を考慮した上で、ごみ有料化を含めた今後の減量策について検討されるというふうに事務局で言っている。10月にこの報告があると思うので、引き続き注視していただいて、見守っていただきたいと思っている。</p> <p>時間が大分押してきているが、他に何かあるか。</p> <p>町内会連合会で「ごみ有料化」について反対しているという話があったようだが、過去にはあったのかもしれないと思われる。ただ、「ごみ有料化」について最近議論をしていないので、そこは現在の町内会連合会の総意ではないということの一つ付け加えさせていただきたい。ちなみに個人的には、あちこち転勤して歩いた経緯で、なぜ福島市が有料ではないのか、町内会長をやってなんでごみがこんなに多いんだろう、有料化すると少なくなるのではないかというのが、私の個人的な考えではある。</p>
<p>会長</p>	<p>最後に私から一点だけ、福島市はとても素晴らしい取組として、ふれあい訪問収集をやっていると思うが、例年一般廃棄物処理実施計画に書いてあったと思ったが、今回は書かないのか。時間がないので、答えは求めないが、それだけ言い残して置きたいと思う。</p> <p>時間の方、大分押してしまい、行政委員の方にはコメントする時間を差し上げられずに申し訳ない。行政委員のお二人には、引き続き見守っていただいて、協力をお願いしたいと思う。例年になく活発なご意見、まとめご指摘、非常に多かったということで、会長として良い体験だったと思う。</p> <p>それでは、まとめてしまって申し訳ないが、本日の議事は終了したいと思う。</p>
<p>次長</p>	<p>会長、スムーズな議事進行に感謝する。</p> <p>また、委員の皆様には長時間の審議に感謝する。</p> <p>最後に、5その他について、事務局から説明をお願いする。</p>

<p>ごみ減量推進 課長</p>	<p>次回の審議会になるが、令和4年の10月頃を予定している。先程の説明の中にもあったとおり、災害及びコロナのごみ排出量への影響等について、検証した結果を示させていただく予定であるので、ご参加をお願いします。日程が確定次第、ご連絡させていただく。</p> <p>なお、今回の会議についても、ご希望された方については、ペーパーレスの観点から会議資料を電子データで対応させていただいた。以降の会議についても、引き続きご協力をお願いします。</p>
<p>次長</p>	<p>それでは、以上を持って、本日の審議会を終了とさせていただきます。本日はお忙しい中、出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>以上。</p>